

宇都宮大学 デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

取組名称：ブレンディッド・ラーニングの推進と多面的評価による自律的学修者の育成 ～LMSと連携したe-ポートフォリオの活用を通じて～

キーワード：#ブレンディッド・ラーニング #学びのコミュニティ #自律的学修者

取組概要：変化が激しく予測不能な社会を生き抜くためには、自ら学びを進めて常に自分の知識の幅を広げ、質を高め、仲間とともに課題解決に取り組んでいける力が不可欠であり、反転授業やそれを含むブレンディッド・ラーニングは、それを獲得させる最適な教育方法である。本取組は、①種々のブレンディッド・ラーニングの実践による効果的で質の高い授業と学修の在り方の追求と、②学修プロセスにおける自己評価やピア評価、また、ルーブリックを基にした教員のフィードバックなど学生の学びを促進するために、e-ポートフォリオシステムを積極的に活用した多面的な形成的評価を行うことにより、明確な目的意識のもとで質の高い学修が展開されるとともに、自己評価能力の獲得により自律的学修者への基盤を形づくることを目的とする。

<取組をととして得られた実績・成果>

目的

教学マネジメントの核となるブレンディッド・ラーニングの推進

ブレンディッド・ラーニングの全学的推進により多様な教育・学修データを蓄積・活用して教育・学修成果を検証・可視化することで、全学的教学マネジメントを駆動させ、教育・学修の質向上をめざす。

学修者本位の教育の実現

ブレンディッド・ラーニングでの学びによって、自己評価能力の向上や学修コミュニティの活用を可能とすることで、学修の自己管理と学びのバージョンアップができる自律的学修者を育成する。

01

教員による評価

- 自己評価
- ピア評価



02

学びのコミュニティ

- 個別最適な学修支援
- デジタル学修コンテンツ



03

第三者からなる教育成果と学修成果の可視化



実績

PLUS-DX推進チームの設置

ブレンディッド・ラーニングやルーブリックによる評価の試行についての検討、実践準備、支援及び成果の検証を行うとともに、それを効果的・効率的に実施するためのシステム設計を検討するなど、本事業の一連のマネジメントを行った。

試行授業の実施・調査

ブレンディッド・ラーニングやルーブリックによる評価を実際の授業で試行し、その効果や課題について教員や学生を対象としたアンケート等により調査を行った。

ICT環境の整備

ルーブリックによる自己評価や教員評価、ピア評価、学修コンテンツの提供、レーダーチャートによる可視化等をWEB上で行うためのシステムを整備した。さらに、ICTの活用を促進するために、認証を統合するシステムを導入した。

成果

調査結果の検証

試行授業について、教員や学生を対象に行ったアンケート等の調査結果を検証し、ブレンディッド・ラーニングやルーブリックによる評価が効果的であることがわかるとともに、課題も判明したため、本格的な導入への検討が可能となった。

FD等による意識の共有

検証結果をもとに、試行授業の実践事例や課題をFD活動の場で全学的に共有するとともに、外部有識者と意見交換を行ったことで、ブレンディッドラーニング等についての理解が深まった。

学修効果・利便性の向上

認証が統合されたことにより、学生の利便性が向上し、ICT活用が推進された。また、個別最適化された学修を支援するためのシステムが構築され、段階的に運用されていくことで、学習効果のさらなる向上が見込まれる。

<今後の予定・展望>

カリキュラムの改訂

令和3年度に宇都宮大学で養成する汎用的能力「宇大スタンダード」を新たに定め、ルーブリックの評価項目として利用することとした。ルーブリックの活用と併せて、それを体系的に養成することを目的に、基盤教育科目や専門科目を改訂することを検討している。また、収集したデータをもとに継続的な見直しを行うことも予定している。

ディプロマサブリメントの開発

学生は「宇大スタンダード」の獲得状況を、レーダーチャートにより視覚的に認識することが可能となった。それを学外に示すためのツールとしてディプロマサブリメントを新たに開発し、学生が社会で活躍するための支援を積極的に行うことを予定している。